

# 事業者における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月24日

事業所名：コンブリオ第二事業所

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		机やマット等を使用し、遊びのスペースをわけています。	活動に合わせた部屋の仕切りなどの活用を検討し、よりよい環境整備をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		エレベーターが設置されているので、事業所までバギー等を使ってくることができます。	安全管理委員会や運営委員会での議題にあげ、検討・改善をしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼や月1回～2回ミーティングを実施し積極的に進めています。	今年度は振り返りについてはケア終了後に掃除や準備を行いながら行っていました。来年度以降はサービス内容変更に伴い、ミーティングや振り返りに時間を多く使えるしくみになった為、よりよいサービス提供の為に朝礼・ミーティング・終礼をより積極的に行います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年度ごとで保護者よりいただいた意見を基に、チーム内で課題と改善点について話し合いをしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表しております。	ご利用者様には結果報告を書面で配布することを検討しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		法人内の専門知識を有した職員に週2～3回、研修や実際のケア場面での指導を受けています。	応用行動分析の専門知識を有した職員を正式に配置し、計画的に研修や指導を実施予定です。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		日々の聞き取りを細やかにを行い、面談ではより具体的に保護者とやり取りするようにしています。	より適切なアセスメントが実施できるよう職員のスキル研修を充実させていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	応用行動分析の研修を規定以上受けた職員がアセスメントを行うようにしています。	アセスメントツールは使用していません。乳幼児の発達段階に照らし合わせてアセスメントをし、お子様の目標設定をしています。

適切な支援の提供

11	児童発達支援計画には児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されている	○		お子様のアセスメント結果や保護者のニーズを反映しています。また、幼稚園などの関係機関との情報を共有しています。	
12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援目標を取り組むことができるような活動を設定し、提供するようにしています。	計画に沿った支援が行われているか確認する機会を来年度は短くし、より適切な支援を行います。
13	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々の活動をチームで立案しケアに当たっています。	
14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		幼稚園・保育園などの活動を参考に未就学の年齢の子供たちの経験する様々な刺激を受けることができるような活動を提供しています。	
15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		集団活動が主なサービスではあるが、個々の支援目標に沿って支援しています。	
16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		日案を作成し、朝礼に確認しています。	
17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		可能な限り口頭での振り返り等を実施しています。	必ず支援の振り返りや記録を取ることができるよう、来年度より職員の勤務体制を変更しました。
18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の様子を記録し、適宜支援の検証・改善につなげています。	来年度からはより細かな記録を取り、検証・改善が行えるようにしていきます。
19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		ミーティングの際には進捗を報告し、必要な場合には見直しをしています。	ケース会議の機会を増やし、より定期的に支援の方向性について検討するようにしていきます。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて子ども家庭支援課や発達支援課と連携を取りながら支援をしています。	

関係機関や保護者との連携

22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケア児を受け入れられる支援体制が整っていません。
23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		電話での情報共有や園へ行動観察へ行きました。	
24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		就学されるご家庭へ小学校引き継ぎ書の作成をしています。	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		外部専門機関に依頼し虐待防止・身体拘束防止研修を実施しました。	来年度も積極的に外部研修に参加し知識を深め支援に活かせるようにしていきたいと考えています。
26	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会がある		○	コロナ禍で外出等の制限もある為実施していません。	
27	（地域自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		法人として市川市の自立支援協議会子ども部会に参加しています。	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		お迎えの際に詳しくお伝えし、必要のあるご家庭には面談を実施しています。	サービス内容の変更に際しても、引き続き定期的な面談や、お迎え時に様子をお伝えすることを継続致します。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要なお家庭にはご家庭での対応に関する方法等をお伝えし、取り組んでいただいている。	保護者会や座談会などを実施し、保護者同士の関わりの中から保護者の対応力を向上する機会を設けたいと考えています。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際や適宜必要な時に説明を行っています。	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的な面談や連絡ノートにて相談を受けさせていただいています。	
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母の会はありません。	保護者会や座談会などの実施を検討しています。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情窓口を設定しています。	事業所としての対応方法を検討し、同じ建物内で運営している放課後等デイサービスの事業所とも対応方法を共有し運用できるように検討していきます。

保護者への説明

明 責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	不定期でおたよりの発行を行っています。	活動の概要については月初めに保護者へ配布し、取り組んでいく課題についてご説明する機会を設ける予定です。
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者対応では日本語でのやりとりが難しいご家庭に対して英訳した文章等で説明するようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	実施していません。	
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員間で周知し、災害時の対応は契約時に保護者に説明し書類をお渡ししています。	現在事業所内で起こる事案についてのマニュアルや対応策等の改定をしています。順次保護者にも周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1度避難訓練を実施しています。	
	40	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握している	○		契約の際に確認しています。	
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者が医師から受けた指示に基づいて対応しています。おやつの保管場所に視覚的に対応方法を貼り確認している。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事故報告書やヒヤリハットは作成して回覧している。	報告書に基づいて検討する機会を設けることができるように検討しています。
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止研修を実施した。	今後も外部研修に積極的に参加すると共に、法人として虐待防止委員を選定し法人全体で定期的に会議を開催し情報の共有や検討の機会をもつ。
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	○	身体拘束を行う際の手順について職員間で情報共有をしています。現状身体拘束を実施するご利用様がないため、支援計画への記載はしていません。	今後、全利用者様に向けて身体拘束についての説明し、やむを得ず身体拘束を行った際には記録に残し、保護者へ詳細なご説明を行います。